



テーマ展

ハマっ子、江戸と弥生 三浦半島をゆく

6月21日(水) ▶ 7月17日(月祝)

〔休館日〕6月26日(日)・7月3日(日)・10日(日) 〔開館時間〕9:00～17:00(券売は16:30まで)

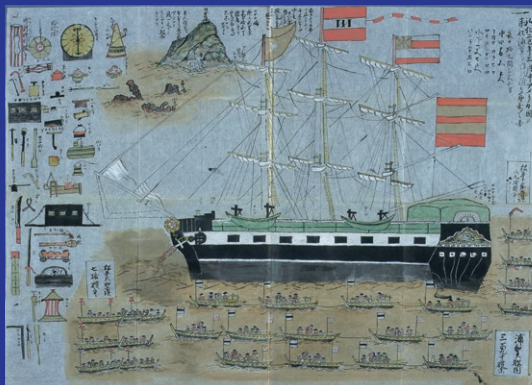
 横浜市歴史博物館

ハマっ子、三浦半島をゆく 江戸と弥生 海と横浜



三浦半島は古くから海と深くかかわっています。江戸時代の浦賀には「海の関所」浦賀奉行所が置かれ、海岸沿いの村々では漁業が盛んでした。弥生時代にさかのばれば、海岸に沿って点在する洞穴遺跡から、弥生人と海の密接なつながりを示す資料が発見されています。

展示パート1では、江戸時代の三浦半島を横浜市域とのつながりも意識しながら当館が所蔵する資料から紹介します。展示パート2では、弥生時代の三浦半島を特徴づける海蝕洞穴遺跡である間口洞穴の出土資料(神奈川県立歴史博物館蔵、神奈川県指定重要文化財)を展示します。タイムスリップしたハマっ子は三浦半島をどのように観るのでしょうか。



- ① 三浦半島の絵図「相模国絵図」江戸時代 [当館蔵]
- ② 浦賀にやってきたアメリカ船のスケッチ 弘化2年(1845) [当館蔵] (萩原家文書)
- ③ 江戸時代の逗子「諸国六十八景 相模多古江」歌川広重(2代)画 文久2年(1862) [当館蔵]
- ④ 間口洞穴遺跡外観
- ⑤ 間口洞穴遺跡出土品 [神奈川県立歴史博物館] ※神奈川県指定重要文化財

展示構成(予定)

パート1 江戸時代 三浦の地図／鎌倉と逗子／金沢の野島／横須賀の実力者・永嶋家 浦賀一海の関所／異国船への備え／三崎一魚を獲る、運ぶ

(展示点数: 約25点)

パート2 弥生時代 さまざまな漁具／運ばれる貝輪／骨を焼いて占う

(神奈川県立歴史博物館蔵 間口洞穴遺跡出土品)

関連行事

講座「海からみる江戸時代の三浦半島」7月1日(土)

講師：神谷大介氏(東海大学非常勤講師)

15:30～17:00

会場：講堂／定員：150人／参加費500円／当日受付(開始30分前より)・先着順

講座「三浦半島の洞穴遺跡」7月9日(日) 14:00～15:30

講師：高橋 健(当館学芸員)

会場：研修室／定員：40人／参加費500円／当日受付(開始30分前より)・先着順

展示解説 7月1日(土) 7月12日(水) ①10:30～②14:00～ ※各日2回

会場：企画展示室／定員なし／参加費無料／当日受付

観覧料	大人	高校・大学生	小・中学生
企画展のみ	200円	100円	100円
※団体料金(は二割引)	常設展共通	500円	200円
		100円	100円



横浜市歴史博物館

市営地下鉄「センター北」駅下車、徒歩5分
(TEL) 045-912-7777
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1
<http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>

次回展覧会

丹波コレクションの世界II
「歴史×妖(あやかし)×芳年」
7月29日(土)～8月27日(日)

【主催】横浜市歴史博物館 【共催】横浜市教育委員会 【協力】神奈川県立歴史博物館
【後援】朝日新聞横浜総局・神奈川新聞社・産経新聞社横浜支局・東京新聞横浜支局・日本経済新聞社横浜支局・
毎日新聞横浜支局・読売新聞横浜支局・NHK横浜放送局・+vkk・Fm yokohama 84.7